

テーマ「木」

どうしてこのテーマ？（設定理由）

園庭に桜、栗、姫リンゴ、キンモクセイの木々があり、園の目の前には、都立林試の森があり、いつでも様々な木々や葉っぱの変化に触れることができる環境にいるため、子どもたちは、四季折々の自然の変化を感じることができて、その感性をさらに深めていき、たくさんの「なんだろう？」「やってみたい！」「お～っ！」などの驚きや発見に慣れている環境でもワクワク・ドキドキを感じ楽しんで欲しいという保育者の願いと子どもの興味感心に保育者が寄り添う楽しさを感じていこうという思いで、設定する。



こぐまぐみ
(3歳)



子どもの姿を知ろう！

各年齢の子ども達を見つめよう！

- 3歳：なんでも見つけるのが大好き！
- 4歳：み～つけた！なにこれ～
- 5歳：もくもくと観察、じ～っと考える、伝え合う

こんな姿が見つけられた、先生たちも大きな発見かも

さあ！いろんな活動を楽しもう！！

何を大切にしようか・・・（共通認識）

- 子どもの気持ちを知ろう
- 子どもの姿を丸っと受け止めよう
- 先生も一緒に楽しんでやってみよう
- 一人で考えずにみんなでアイディアを出し合おう

先生たちのグループを決めよう

いろんな先生と色々な話をした！
結果：3・4・5歳児クラスにいろんなクラスの先生と一緒に考えて、楽しんでみよう！

きりんぐみ
(4歳)



そうぐみ
(5歳)

(3歳児)活動② いつもの公園でも探してみよう！

◆活動内容

大好きな「林試の森公園」にも「双眼鏡をもって行きたい！」という子どもの声に答え、双眼鏡と発見した物を入れるお散歩バッグを持ち、戸外活動に出かける。

◆環境をデザインする

双眼鏡、お散歩バッグ

◆子ども達の様子

林試の森公園へ散歩に行く際に「双眼鏡を持っていきたい！」という声があり、むしむし探検隊の行先が決定した。

『むしむし探検隊』という共通のイメージがあるためか、みんな同じ方向へと向かう。そのため一人がどんぐりを発見すると、みんながみつけることができた。お散歩バッグがいっぱいになると、満足そうにする姿があった。



「どんぐりいっぱい！」



☆殻斗発見！疑問の芽生え「どうしてどんぐりは帽子を被っているのかな？」

☆謎の虫を発見！「黒と茶！なんだこの虫？」



「おっきなミミズ
みつけたよ～！」

「ひげが長いよ！」



「なんかの赤ちゃんかな？」



「みてみて！
たくさん拾ったよ。」

◆グループの先生は・・・

○『むしむし探検隊』は子どものイメージや思いを膨らませることができるアイテムの一つである。普段「むし！」「どんぐりの帽子！」と伝えるだけの子ども達から、保育者が投げかける前に「この虫なんて言うの？」「なんで帽子取れちゃうのかな？」など“なぜ？どうして？”が、様々な言葉として生まれてきた。

○日常的に、見立てやごっこ遊びを楽しんでいる。今回収集した秋の自然物を取り入れた遊びへと繋げていく。

（4 歳児） 活動④ 『たたき染め』～草花を使って染ものの遊び～

◆ 活動内容

草花をたたいて染める「たたき染め」の技法をつかって自然と触れ合う経験をする。

◆ 環境をデザインする

子どもの活動で用意したもの：ハンカチ、金づち、チラシ、紙、クリアファイル、机、お酢、ぬるま湯、洗面器

子どもが用意したもの：草花を自分で選んで採集したもの、散歩バック



このはっぱ、かたいね。



ほうれん草のにおいがする！

葉の匂いを感じる



◆ 子ども達の様子

- ・ハンカチを広げ、バランスを考えながら、葉や花を並べていた。
- ・叩き染めをしながら、気づいたことを友達同士で伝え合ったり、疑問に思ったことを一緒に考えたりしていた。また、どう叩くと色が綺麗に出てくるかを自分なりに考え、試してみることを繰り返しながら、上手くできた時には、やり方を友達にも共有していた。
- ・できあがった時と、飾った時（1～2週間経過後）とで色が変わっていることにも気づき「なんでだろう」と考える姿も見られた。

葉の形や硬さにより、色の付き方や濃さが違うことに気づく

葉っぱの色が違う



葉脈を発見

葉っぱの線が出てる

力加減が必要

はっぱが破れちゃった
もっと優しく叩いてみよう



できた！



◆ グループの先生たちは・・・

自分で採集した草花を使って染めたことで、ハンカチに愛着が沸き、ハンカチ（物）を大切に扱う気持ちにも繋がってきている。草花を採集する中で植物の匂いの違いに気づき、これまで以上に興味をもてるようになってきた。自分が拾い集めた草花を自分の好きなように配置し、叩きながら染める中で、気づいたことを保育者に伝えるなど、言葉にして表現することも楽しむことができた。

(5 歳児) ④活動 ～自然物を感じる

◆活動内容

- ・自然物が落ちていそうな場所を探し始める
- ・製作や遊びに使えるものを選びながら探す
- ・葉や木の実、枝など集めたものを袋に入れて友達と見せ合う
- ・虫探しをしたり、友達と集めた自然物を使ってごっこ遊びをしたりする
- ・変わった形の自然物を見つけ、友達と一緒に何かを考えたり予想したりする

◆環境をデザインする

- ・自然物を入れるビニール袋3～4袋、顕微鏡、書画カメラ
自然物を仕分けするトレー、新聞紙、クレヨン、鉛筆、水溶ペン
セロテープ、のり、木工用ボンドなど

◆子ども達の様子

- ・製作に取り付けてごっこ遊びに使う姿、
顕微鏡を使ったり、図鑑で調べて理解しようとする姿、
それぞれが興味をもったことを一人でじっくり取り組んだり、



友達と伝えあい、探し物を見つけると取るのをみんなで誘い合
わずとも協力する5歳児



探して見つけた物をじっくり観察したり、名前やどんなも
のなのか友達と調べ始める



調べて遊びに取り入れて友達
と発展し合っていく



◆グループの先生たちは・・・

・当初は自然物に興味が少ない子ども達も保育者が意図をもって環境を考えたり、興味を
をもてるような言葉を投げかけたり、子どものつぶやきを逃さないでタイミングよく問いか
け、受け止めていくことで今回の姿になっていったと考える。保育者の姿勢と援助、環境をど
う設定していくかの重要性を実感できた。今後は、更に子どもの発展していく考えと一緒に楽
しんでいきたい。



上にもなんかの実
がついてるね
まぶしい！☀

上を見上げたり、草木や落ち葉の
下をめくってみたりなど